

最近の雇用情勢について

(平成29年6月)

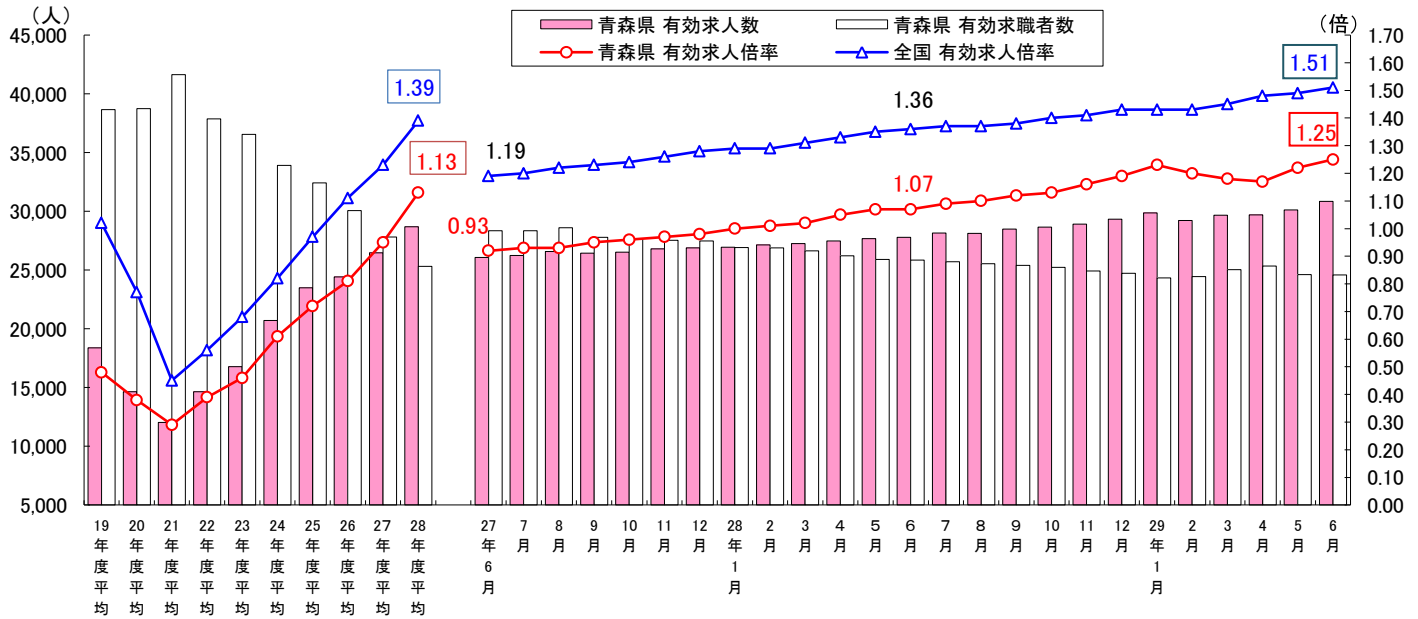
青森労働局

I 求人・求職・受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

6月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ2.4%増加し30,845人、有効求職者数(同)は0.1%減少の24,591人で、有効求人倍率(同)は1.25倍となり、前月を0.03ポイント上回った。

就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は、1.35倍となり、前月を0.05ポイント上回り、受理地別の倍率を0.1ポイント上回った。

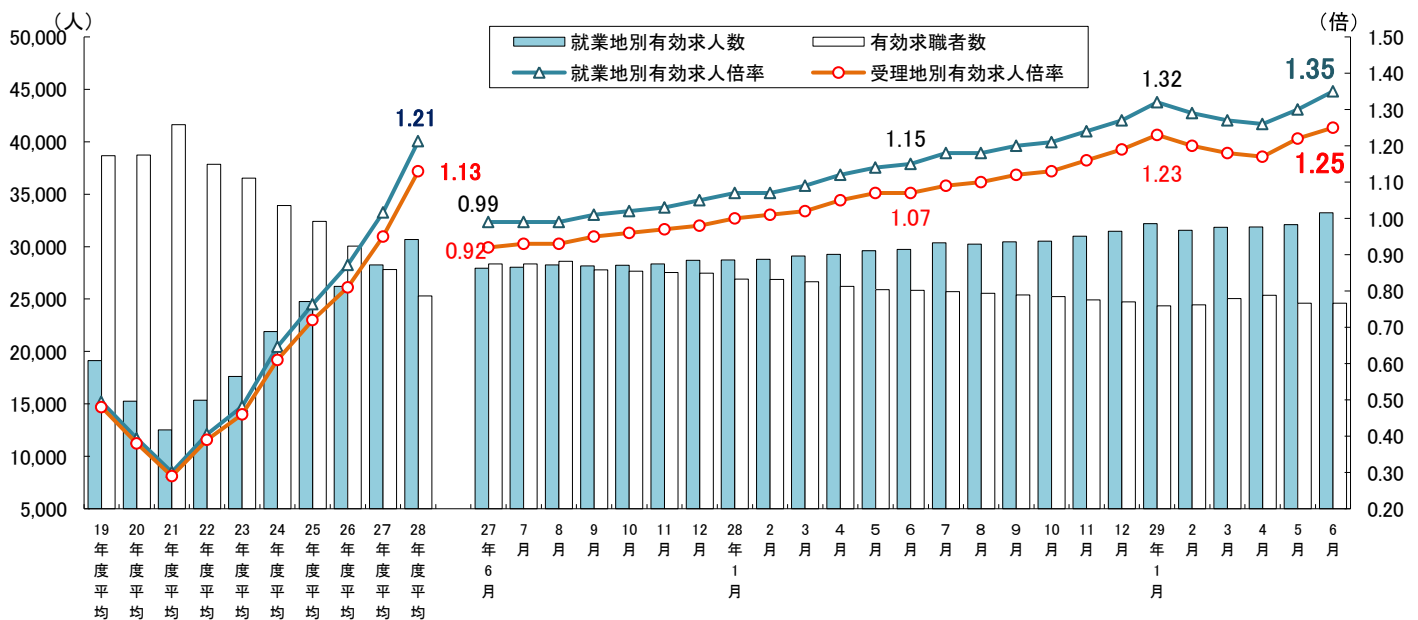
受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



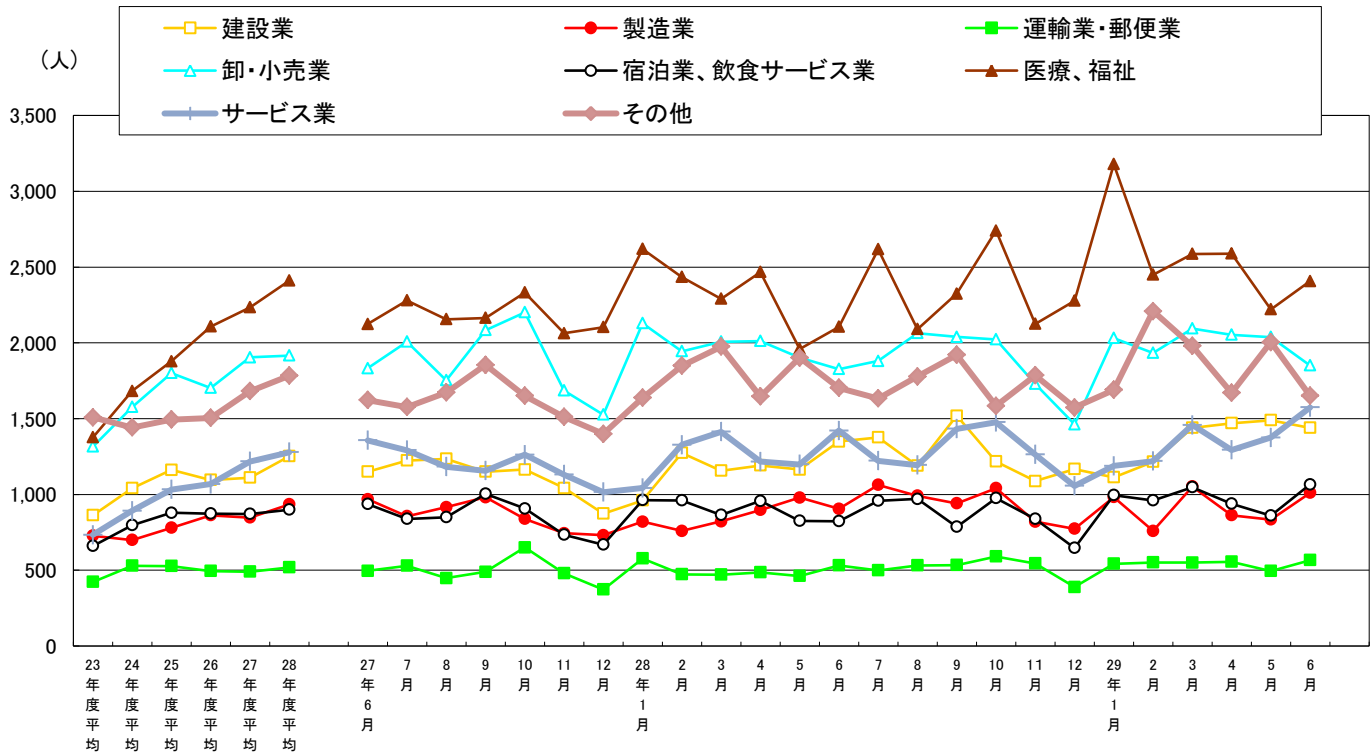
全国ハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。
 季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。
 就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成28年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

Ⅱ 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

6月の新規求人数(原数値)は前年同月比8.5%(902人)増加、前月比2.2%(249人)増加の11,566人。

産業別で前年同月と比較すると、建設業、製造業、宿泊、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業等で増加し、生活関連サービス、娯楽業等で減少した。製造業では、繊維工業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業等で増加し、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、化学工業、石油製品等製造業、窯業・土石製品製造業、輸送用機械器具製造業等で減少した。



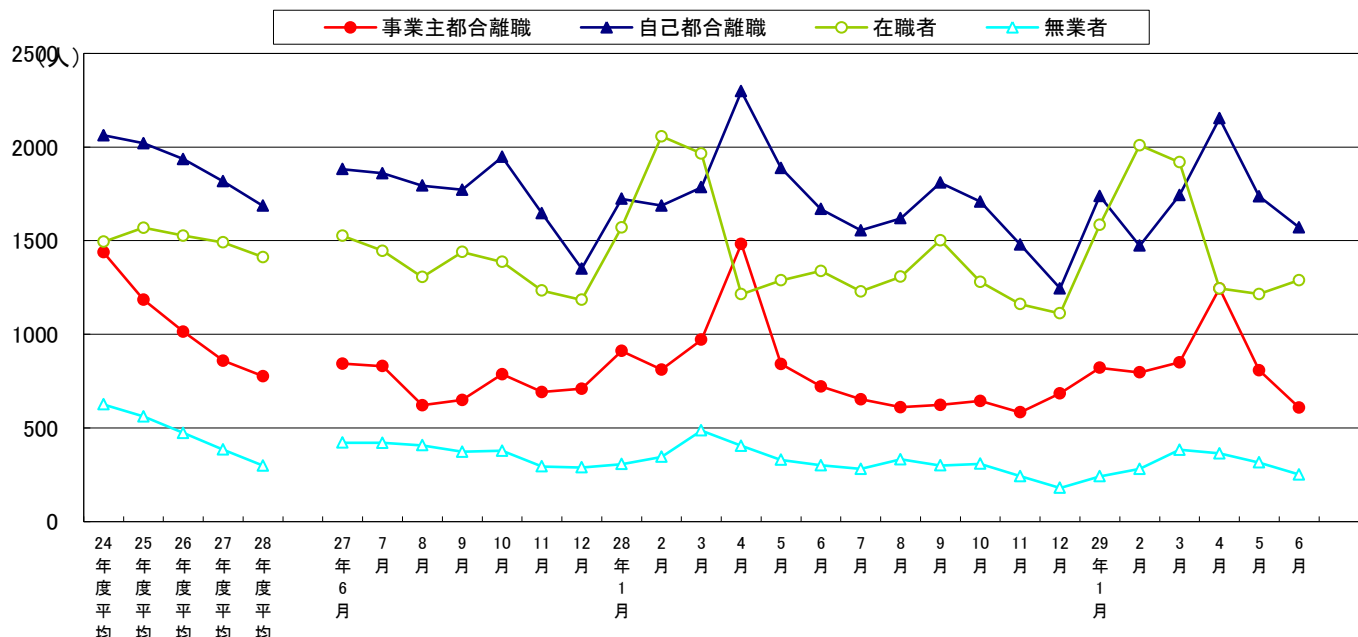
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

6月の新規求職者数は、前年同月比7.5%(306人)減少、前月比8.8%(365人)減少の3,801人。

求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は3.7%(49人)減少し、離職者は8.4%(208人)減少、無業者は16.3%(49人)の減少となった。

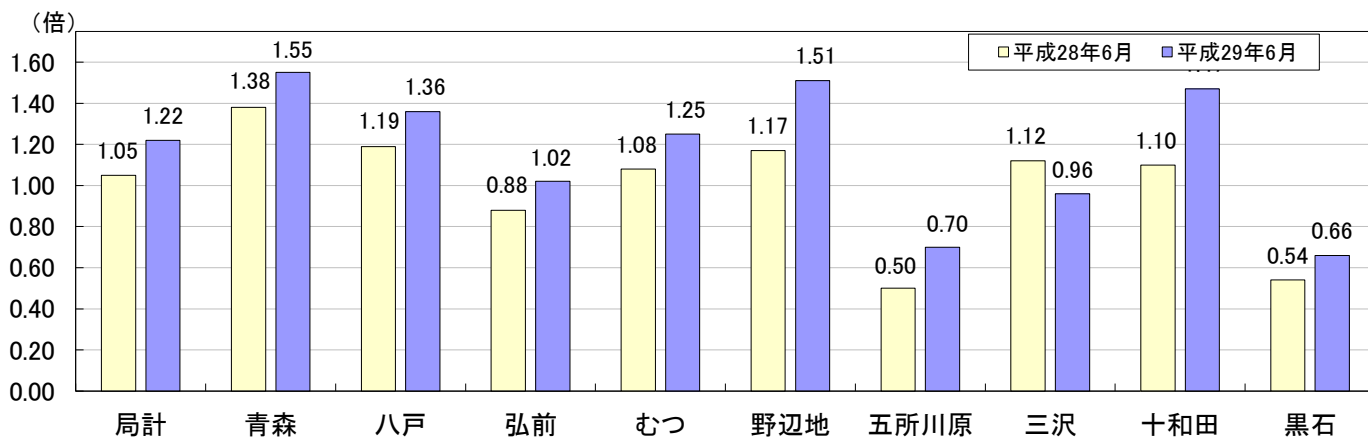
離職理由でみると、事業主都合は15.5%(112人)の減少、自己都合は5.9%(98人)の減少となった。



IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

6月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.22倍となり、前年同月を0.17ポイント上回った。

各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



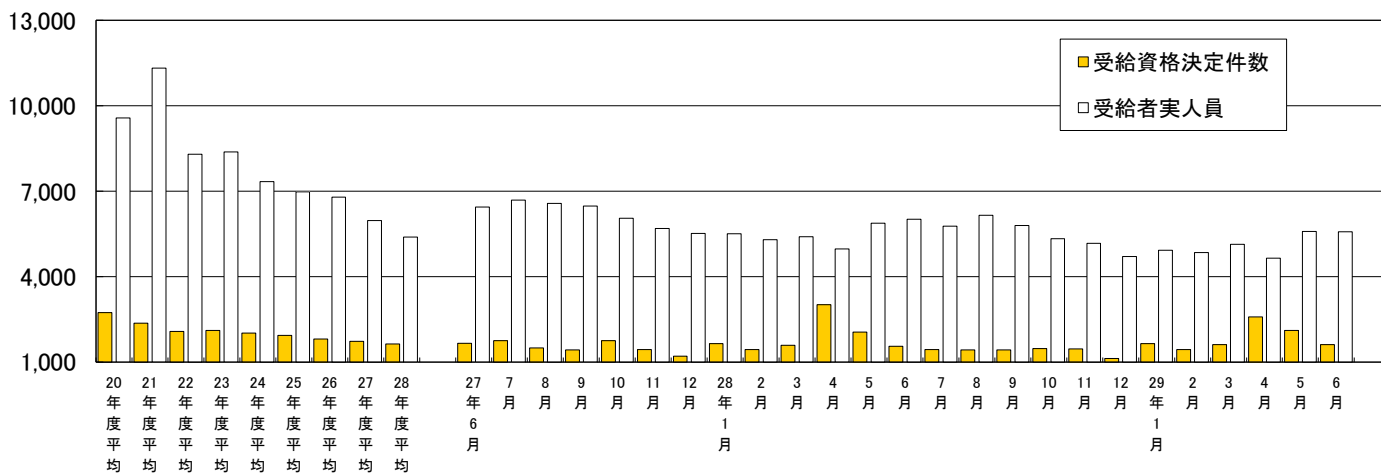
	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	24,832	6,078	5,585	4,843	1,132	771	2,413	1,414	1,142	1,454
有効求人数	30,191	9,420	7,575	4,927	1,417	1,164	1,690	1,364	1,679	955

V 雇用保険の状況

6月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比7.3%(437人)減少、前月比では0.2%(13人)減少の5,573人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比4.1%(63件)増加、前月よりも23.2%(488件)減少し1,615件となった。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比18.1%(54人)減少、前月比8.2%(22人)減少し245人となった。

(人) 受給資格決定件数と受給者実人員の推移



(人) 事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

